

令和2年度の財務4表（一般会計等）を公表します

問 伊奈庁舎財政課（内線2204）

本市の財政状況を分かりやすく市民の皆さんに理解してもらうため、国が定めた「統一的な基準」により、財務書類を作成しました。

■ 貸借対照表（バランスシート）とは？

市が住民サービスを提供するために保有している財産（資産）と、その資産をどのような財源（負債・純資産）でまかなってきたかを総括的に対照表示したものです。

■ 資金収支計算書とは？

歳計現金（＝資金）の出入りの情報を、性質の異なる3つの区分（業務活動収支、投資活動収支、財務活動収支）に分けて示したものです。

■ 行政コスト計算書とは？

1年間の行政活動のうち、人的サービスや各種給付サービスなどの、資産形成に結びつかない行政サービスに係る経費と、その行政サービスの直接対価として得られた財源を対比させたものです。

■ 純資産変動計算書とは？

貸借対照表の純資産の部に計上されている数値が、1年間でどのように変動したかを示したものです。

貸借対照表（バランスシート）			単位：百万円		
資産の部			負債の部		
	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	
1 固定資産 (有形固定資産・無形固定資産・投資など)	54,886	54,033	1 固定負債 (地方債・長期未払金・引当金など)	23,708	23,395
2 流動資産 (現金預金・未収金・基金など)	3,586	3,794	2 流動負債 (1年内償還予定地方債・未払金など)	2,638	2,760
			負債合計	26,346	26,155
			純資産の部		
			純資産合計	32,126	31,672
資産合計	58,472	57,827	負債および純資産合計	58,472	57,827

資金収支計算書			単位：百万円	
	令和元年度	令和2年度		
1 業務活動収支	1,189	852		
(1) 業務支出	15,647	22,525		
(2) 業務収入	16,836	23,378		
(3) 臨時支出				
(4) 臨時収入				
2 投資活動収支	△240	△670		
(1) 投資活動支出	1,345	1,885		
(2) 投資活動収入	1,105	1,214		
3 財務活動収支	△1,013	△69		
(1) 財務活動支出	1,799	1,895		
(2) 財務活動収入	787	1,826		
本年度資金収支額	△63	113		
前年度末資金残高	572	509		
本年度末資金残高	509	622		

行政コスト計算書			単位：百万円	
	令和元年度	令和2年度		
経常費用	17,358	24,246		
業務費用 (人件費・物件費など)	9,381	10,174		
移転費用 (補助金・社会保障給付など)	7,977	14,072		
経常収益 (使用料・手数料など)	573	488		
臨時損失	15	7		
臨時利益	28	18		
純経常費用（純行政コスト）	16,773	23,746		

純資産変動計算書			単位：百万円	
	令和元年度	令和2年度		
前年度末純資産残高	32,558	32,126		
純行政コスト（△）	△16,773	△23,746		
財源 (税込・国県などの補助金)	16,332	23,164		
固定資産などの変動（内部変動）				
資産評価差額				
無償所管換など	9	128		
本年度純資産変動額	△432	△454		
本年度末純資産残高	32,126	31,672		

※記載金額は、表示単位未満を四捨五入して表示しているため、合計額と一致しない場合があります。
詳しくは市ホームページをご覧ください。



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策事業費が歳出の20%以上を占め、その財源として、国県支出金も大きく増額となりました。

そのため、純行政コストは6,973百万円増加し、その一方で財源は、特別定額給付金事業費補助金(5,702百万円)、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(510百万円)などにより増加した結果、全体で6,832

百万円増加しました。

また、資産は、幼稚園改修工事、保健福祉センター空調改修工事、防災行政無線デジタル化工事、街灯防犯カメラなどを取得しましたが、資産の取得より減価償却による価値の減少分が上回ったため、645百万円の減少となりました。一方で負債は、地方債の減少などにより191百万円の減少となりました。